

◎県内中世石造物悉皆調査の一環で市内中世石造物調査 が実施される。－市史編さんに活用する予定－

今月12～13日に土佐清水市内の中世石造物調査(石仏)を元高知県立歴史民俗資料館副館長・濱田眞尚氏、いの史談会会長・山岡会長、東近伸市史編集副委員長らが実施しました。調査は、足摺半島(中浜・大浜・松尾・足摺岬・金剛福寺・津呂・窪津)・浦尻・大岐・加久見・斧積・三崎・下川口・宗呂の各地区で実施され、200基以上の調査と記録、写真撮影を行われました。

この中で、足摺岬地区西川橋上の間道で「新発見の遍路墓」や宗呂上と下の分岐路の付近で「銘文入りの中世石仏」を確認するなどの成果をあげることができました。これらの調査結果は、『新市史』に活用してもかまわないと濱田・山岡両氏から許可をいただいております。



加久見地区での調査



帽子を被った石仏



足摺岬地区で新発見された遍路墓



銘文入り石仏の拓本作業の様子



大岐地区念西寺境内での調査風景

◎あしずり遍路道を文化庁が視察

今月 20・21 日（火・水）と文化庁史跡部門の視察で本市に所在する「あしずり遍路道」及び「金剛福寺境内」の巡見が実施されました。

文化庁からは、文化財第二課史跡部門主任文化財調査官・山下信一郎氏、随行として高知県教育委員会文化財課尾崎世都主任社会教育主事、高知県総務部政策企画課企画第四担当野町直秀チーフ、同課森翔汰主査、高知県産業振興推進部計画推進課・西村太希企画員などが同行し、当委員会からは、課長補佐・池内、市史編さん室・田村と吉本が案内をしました。

20 日は、16 時から 1 時間ほど市内市野瀬地区の真念庵周辺道を、21 日は、以布利



浜・伊予駄場から窪津クジラ道を歩き、巡見しました。真念庵周辺は、国の史跡にするに十分な構成要素を備えているというお墨付きをいただきました。

今年度 11 月から実施する予定の「高知家遍路道プロジェクト」も目標の 100 万円を超えて、3 倍くらいのふるさと納税がなされているとのことです。当教育委員会としても来年度も引き続きこのプロジェクトを続けていきたいと考えております。

「生涯学習課・市史編さん室」にニューフェイス登場

本年度 3 月 31 日までの任期で会計年度職員として吉本工心さんが勤務することになりました。吉本さんは、市内中浜出身で長い間県外に就職しており、昨年度から U ターンして土佐清水市に戻りました。昨年は、中央公民館に勤務しておりました。

吉本さんには、市史編さん室の業務を担当していただきます。11 月以降の戦争遺跡調査や中世山城に編集委員さんや協力員さんに同行し、その補助的業務や裏方としてサポートしていただきます。どうぞ皆様よろしく願いいたします。

今月30日(金曜日)の市史編集委員会について

今月 30 日（金）14 時から土佐清水市立中央公民館 3 階大ホールで開催される第 2 回市史編集委員会の内容を記載しますので確認をよろしく願います。

（司会）市史編さん係・由岐係長

- ①開会あいさつ 田村市史編集委員長
- ②活動報告（各種調査） 田村市史編集委員長 ※20 分程度
- ③各編集委員から近況報告（執筆進捗状況も踏まえて）※1 人 5～7 分
あらかじめ各編集委員はまとめておいてください。
- ④執筆目標の確認…年内に一旦原稿を紙ベースで市史編さん室に提出
執筆における注意事項
めざす『新市史』像の確認（共通認識）など